



Contents

- 1 後学期授業の開始にあたって
- 2 9月学位記授与式
- 3 HT学部 外部講師を招き特別講義
- 4 高大連携協定校の高校生に集中講義を実施
- 5 都立田柄高校 「留学生との交流会」実施
- 6 オープンキャンパス開催報告
- 7 明海スポーツ
- 8 2022年度入試日程

後学期授業の開始にあたって

学長 安井 利一

東京オリンピック・パラリンピックが多く感動を残して終了しました。浦安キャンパスでは、前学期の授業日程は、オリンピックシフトとして、学生のボランティア活動が可能なように授業日程を変更したことで、何事なく参加学生に喜んでもらい首尾よく終えることができました。また、スロバキア共和国の陸上選手に練習場としてキャンパスを使用していただき喜んでいただけました。皆様のご協力に感謝しております。

さて、後学期授業につきまして、浦安キャンパスでは通常どおりの対面授業をめざしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の状況をみておりますと決して楽観できない状況にあり、前学期に引き続き、一部の授業を除いて、隔週での対面授業と遠隔授業の交代制をとることとし、9月18日(土)からの開始といたしました。

歯学部におきましては、附属病院と一体化されていることから、学生へのワクチン接種を積極的に実施して5学年の臨床実習や6学年の講義等については通常対面授業とし、教室配置の問題から1学年から4学年までは前学期と同様に対面授業と遠隔授業を組み合わせた授業方法を継

続することといたしました。カリキュラムについては、学生が落ち着いて学修できる環境を整え、大学独自に編成しております。

一方、大学拠点接種(大学等における学生・教職員等を対象

とするワクチン接種)として早々に申請しておりましたが、残念なことにワクチン配給の停止措置を受けて、約2か月遅れの9月8日からの開始となりました。本学歯学部附属病院やPDI浦安歯科診療所などの医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士の協力と、事務局の円滑な運営により大学拠点接種が開始されました。浦安市から依頼された地域の方々を含めて総勢1,356人を対象とした接種の1回目が無事に終了しました。2回目は4週間空けての10月初旬からの接種となります。

新型コロナウイルス感染症は、現在、感染者の若年化と家庭内感染の増加、変異株の出現で新たなフェーズに入っていると考えられます。予



大学拠点の職域接種の様子(浦安キャンパス)

防の基本は感染源、感染経路、感受性宿主対策ですが、ここはワクチン接種によって感染しにくい体を作っていくことが第一選択となってきました。もちろん、これまでの三密を避ける行動制御が引き続き重要であることは言うまでもありません。ワクチン接種により多少の副反応を生ずることはありますが、感染した場合のリスクを考えますと、学生諸氏にも積極的に接種をお願いしたいところです。

大学は、このような中においても、教育の質保証を粛々と実行していかなければなりません。学生と大学関係者が一丸となって、このような学修の危機を乗り越えていきましょう。

9月学位記授与式

建学の精神を胸に夢に向かって旅立つ

9月14日、2021年度9月学位記授与式が浦安キャンパスで挙行され、学部・大学院の27人と別科日本語研修課程の23人が卒業、修了を迎えた。式には安井利一学長をはじめ、副学長、各学部長・研究科長、別科長らが列席。学部卒業生を代表して檜山大河さん（経済学部）に学位記が、別科日本語研修課程修了生を代表して尹香花さんに修了証書が授与された。

学長告辞で安井学長は「さまざまな社会問題が起こるなかで、それを解決できるのは人間の力だけ。皆さんの力は国や世界を変える大きな力になります。大学でどんな力を身につけ



学位記授与の様子

られたか建学の精神を振り返り、自分には何ができるのかを考えてほしい。皆さんは世界に一人。これか

らが皆さんの力の見せ所と思い、一人ひとりのいいところを伸ばして活躍してほしい」と激励を送った。

歯学部 豊田亜希子助教「東京矯正歯科学会 9th IOC優秀発表賞」受賞 (歯科矯正学分野)

7月14日 有楽町朝日ホールで開催された「第80回東京矯正歯科学会記念学術大会」で、歯学部の豊田亜希子助教（歯科矯正学分野）が、「東京矯正歯科学会 9th IOC優秀発表賞」を受賞した。この賞の目的は、9th International Orthodontic Congress（IOC）に対する東京矯正歯科学会会員の関心を高め、かつ会員による学術発表の内容のさらなる向上を図ることにある。豊田助教の発表は、9th IOCに発表された多数の演題のなかから、厳正な審査を経て特に優れた研究内容と評価され、受賞に至った。

豊田助教からは今回の受賞について「このたびの受賞は大変光栄に思います。本研究を進めるにあたり、ご指導いただいた須田直人教授、品川令客員助教をはじめとする先生方に感謝申し上げます。今後も歯科矯正学や唇顎口蓋裂治療の発展に貢献できるよう、教育研究活動に励んで参りたいと思います」と喜びの声が聞かれた。

【受賞対象】

「ヒト臍帯由来間葉系幹細胞は顎裂部骨再生における有用なバイオリソースである」



賞状を手にする豊田助教と新井一仁 東京矯正歯科学会会長

ホスピタリティ・
ツーリズム学部

外部講師を招き特別講義

ホスピタリティ・ツーリズム学部（以下、HT学部）では、各国の駐日大使や企業の経営トップなどさまざまなジャンルの外部講師を招き、責任感や自主性、リーダーシップ、ホスピタリティマインドを涵養する実践教育に力を入れている。前学期には「プレミナールⅡ」（2年生対象）で、2人の講師を招き、特別講義が行われた。

現役アスリートから学ぶセルフマネジメント

6月17日、浦安市を拠点に活躍するラグビーチーム「NTTコミュニケーションズシャイニングアークス東京ベイ浦安」の喜連航平選手を招き、「セルフマネジメントの重要性」と題した特別講義が行われた。

喜連選手は、けがをしてラグビーができなくなるかもしれないと不安で落ち込んだ時にどのように前を向いて自分らしく取り組んだか、セルフマネジメントの手法を紹介。コロナ禍での学生生活や就職活動など、将来への不安を抱えつつ目の前のタスクをこなす学生の気持ちに寄り添いながら、セルフマネジメントの重要性を説いた。自己分析のディスカ

ッションや目標分析マンダラチャートの作成などワークも盛り込まれ、喜連選手も学生たちと積極的に交流



学生と交流する喜連航平選手

を図った。

最後に、学生たちに向けて「大学生のうちからセルフマネジメントができれば世界が大きく広がります」と熱い激励があった。

老舗旅館若女将から学ぶおもてなしの極意

7月1日、石川県和倉温泉「加賀屋」の若女将であり、HT学部客員教授の小田絵里香氏が「笑顔で気働き

～加賀屋の流儀～」と題して特別講義を行った。

加賀屋は「プロが選ぶ日本のホテ

ル・旅館100選」で何度も総合1位に選ばれている老舗温泉旅館。料理、施設ともに人気のある加賀屋だが、なかでも定評のあるおもてなしについて、その流儀を話した。加賀屋のおもてなしの本質は「正確性」と「ホスピタリティ」。そのどちらが欠けてもおもてなしが成立しないことを、実際にあった失敗の事例を挙げながら説明。ホスピタリティ産業を志す学生たちは、一流旅館のおもてなしの極意を学べる貴重な機会とあって、小田氏の話に真剣に耳を傾け、熱心にメモをとっていた。

講義後には「加賀屋に嫁いで一番大変だったことは何か」「新型コロナウイルスは宿泊業にどのように影響したか」など、学生たちから多様な質問があった。



加賀屋の若女将小田絵里香氏

高大連携協定校の高校生に集中講義を実施

高大連携協定を結んでいる私立富士見丘高等学校2年生を対象に、ホスピタリティ・ツーリズム学部（以下、HT学部）グローバル・マネジメントメジャーのサマースクール「デスティネーションマネジメント集中講義」が7月29日と30日の2日間、浦安キャンパスで開催された。

1日目の午前中は、本学客員教授であるハワイ大学のラッセル・ウエノ教授とオンラインで結び、観光地にキャパシティ以上の観光客が訪れる問題「オーバーツーリズム」をテーマに、オールイングリッシュの講義を実施。ハワイが抱えるオーバーツーリズムの現状と問題点について理解を深めた。午後には、ラッセル教授の講義を基にブレインストーミングを行い、各グループが関心を持った内容についてグループプレゼンテーションの準備を行った。



英語でプレゼンテーションをする生徒たち

2日目の午前中はプレゼンテーションの練習など最終調整。午後は再びハワイとオンラインで結び、ラッセル教授を審査員に迎えて5グループが各10分間のプレゼンテーションを行った。生徒たちは、英語でのプレゼンテーションや質疑応答もそつなくこなし、その内容、英語

力のレベルの高さにはラッセル教授をはじめ、HT学部の教授たちも感心しきりだった。最後にHT学部長の内苑孝美教授からプレゼントが贈られると、無事にプレゼンテーションを終えた生徒たちは緊張もほぐれ、2日間の集中講義は笑顔で終了した。

2022年度教員採用試験壮行会

7月7日、明海大学教職課程センター（METTS）主催の「2022年度教員採用試験壮行会」が開催され、今年度、東京都や千葉県、福島県などの中学校、高等学校の国語・英語、小学校全科で教員採用試験を受験する学生をはじめ、1年生から3年生の教職課程履修学生、教職員等が参加した。

高野敬三副学長・外国語学部長・教職課程センター長から激励の言葉と、一人ひとりにあてたメッセージ、合格祈願として亀戸天神のお守りなどが贈呈された。その後、英米語学科4年の鶴沢美里さん、日本語学科4年の奥山未彩さんから、試験合格に

向けて力強い決意表明があった。

そして、8月末に教員採用試験1次試験の合格者が発表され、東京都、千葉県、福島県で17人が見事合格した。

教職課程センターでは、コロナ禍にあっても、教職に関するさまざまな課題をトータルにサポートできる



受験する学生へ激励のメッセージ
よう万全の体制を整え、引き続き2次試験の突破に向けて指導を行っていく。

都立田柄高校

「留学生との交流会」実施

7月7日、本学と高大連携協定を結んでいる東京都立田柄高等学校で「留学生との交流会」が行われた。

これは、本学の外国人留学生と高校生との交流を通じてお互いの文化に触れ理解を深めることを目的としたもので、コロナ禍で中止となった昨年度を除けば2016年度から継続して実施している。

本学からは、教職課程センター・地域学校教育センターの坂本純一教授と多言語コミュニケーションセンターの範弘宇講師の引率のもと、中国、台湾、ベトナム、スリランカ出身の外国人留学生14人が交流会に参加し、それぞれの自国文化について写

真や動画を使って紹介した。参加者たちは初めこそ緊張した様子だったが、日本語と英語を織り交ぜてお互いを紹介していくうちに打ち解けたようで、会話を楽しむ姿が見られた。

英米語学科3年のプラギート・クマーラさんから「このように異文化の人たちが集まって協働学習を行う



交流会の様子

ことは、とてもいい経験になる」とコメントがあったように、本学の外国人留学生にとっても意義のあるイベントとなった。

英語授業改革セミナー「本気で授業改革」

8月6日、第4回「明海大学・朝日大学共催・2021英語授業改革セミナー」が開催された。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大学会場における対面形式とZoomによるオンライン形式を併用した形で実施し、全国の小学校、中学校、高等学校教員、教育委員会、大学教員など278人が参加した。

明海大学安井利一学長と朝日大学森下伊三男副学長のあいさつの後、基調講演で文部科学省の山田誠志教科調査官が登壇。「新しい観点による学習評価から、求められる指導を考える～英語教師としての喜びを感じる授業を～」という演題で、豊富な資料とともに受講者とのやりとりを交えた講演は多くの示唆に富み、学習

に向けて-」「生徒のMotivationを高める協働活動と高次言語活動-『論理・表現』の授業で養うスキルとは-」「読むことから話すことへの領域統合的言語活動」「楽しく学ぶ小学校外国語-ALTとのコミュニケーション活動を中心に-」の4テーマで、有意義な議論が展開された。

アンケートでは「新しい学習指導要領や観点別評価を実施するうえで、ポイントとなる点をとても丁寧に説明していただき、指導方針の道筋が見えてきた」などのコメントが多くを受講者から寄せられた。本セミナーは学校で授業を担う現任教員がメインターゲットだが、本学の教職課程を履修している学生も多く聴講している。なかには、運営スタッフとしてワークショップのアシスタントを担当している者もあり、教員をめざす学生にとっても貴重な経験となった。



セミナー（全体会）の様子

指導要領に示された概念の具現化にも大いに役立つ内容だった。

その後はテーマごとに4つのワークショップを実施。「評価を変えて授業改善！-指導と評価の一体化

オープンキャンパス開催報告

浦安キャンパス

浦安キャンパスでは7月から9月にかけて計6回オープンキャンパスを開催。新型コロナウイルス感染拡大防止対策により人数制限を設け、各回完全予約の2部制としたが、高校生が大学を知る機会が損なわれないよう、昨年より実施日数を増やして対応した。緊急事態宣言の発令に伴い8月22日以降はさらに対象を受験生のみにしたが、対面で参加ができない受験生向けにオンラインで

のLIVE配信も同時に行った。総合型選抜(AO)I期の出願も始まり、対策講座を受ける受験生の顔には真剣な表情がうかがえた。

坂戸キャンパス

坂戸キャンパスでは、7月から9月にかけて計3回オープンキャンパスを開催。各回「明海大学を知ろう～歯学部1日体験～」 「目指せ合格!～入試準備スタート～」 「目指せ合格!～総合型選抜(AO)対策～」 などテーマを設定し、模擬授業、キャンパスラ

イフガイダンス、入試ガイダンスなど受験スケジュールに合わせたさまざまなプログラムが行われた。歯学部をめざす高校生や保護者の方が参加され、授業についての質問をしたり、学生に学外活動について相談したりと各々の過ごし方でオープンキャンパスを満喫する姿がうかがえた。



坂戸キャンパスオープンキャンパスの様子

One Dayセミナー結果報告

9月12日に浦安キャンパスで、不動産学部とホスピタリティ・ツーリズム学部(以下、HT学部)のOne Dayセミナーが開催された。緊急事



在学生3人がZoomで参加する様子

態宣言下ということもあり、HT学部はオンライン配信で実施し、来年4月新設のデジタル・イノベーションメジャーを加えた3つのメジャーごとに、それぞれの特長が伝わる体験授業が行われた。また、不動産学部は対面とオンライン配信のハイブリッドでの実施となり、学部紹介、講義についてなど学部全体への理解を深めるプログラムに加え、後半からは在学生3人がZoomで参加し、学外

活動などキャンパスライフについて学生ならではの視点で語った。公式ホームページやパンフレットで知るのは違ったそれぞれの学部の魅力を知るきっかけとなり、参加した学生からは「大学の授業について今までにはイメージが湧きませんでした。今回のセミナーで、入学後の大学生活のイメージができました」「パワーポイント資料もわかりやすく、引き込まれた。これであればコロナ禍のリモート授業でも安心」などの声が寄せられた。

オリエンタルホテル 東京ベイがHT学部の学生企画を採用

ホスピタリティ・ツーリズム学部 渭東史江教授ゼミの授業科目「ケーススタディⅠ・Ⅱ」では、ホテルビジネス全般を学修しており、その一環として学生たちがグループに分かれホテル商品企画のプレゼンテーションを行った。プレゼンテーションの結果、最優秀賞を受賞した学生たちのアイデアが、この授業でご協力いただいたオリエンタルホテル 東京ベイの企画担当者の目にとまり、ホ

テルのラウンジで採用された。

採用された企画はフランス・マンントンの「レモン祭り」をテーマとしたもので、オリエンタルホテル 東京ベイのコンセプトである“南仏プロヴァンス”と親和性が高く、夏をイメージさせる“祭り”という点もシーズン企画として評価さ

れた。この「レモン祭り」のコンセプトを用いて、9月30日までの期間限定で宿泊者専用ラウンジ「ブローニュの森」が装飾され、レモネードやレモンクッキーなどのウェルカムスイーツが提供された。



渭東教授(中央)と学生たち

明海スポーツ

輝かしい戦績を残す!!

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

体育会女子バレーボール部

令和3年度天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会千葉県予選 優勝!

7月11日、千葉県立印旛明誠高等学校で開催された「令和3年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会千葉県予選」で体育会女子バ

レーボール部が優勝した。

1回戦は江戸川大学Bと対戦し2-0と好スタートを切り、関東大学女子2部リーグの強豪校である国際武

道大学との対戦となった準決勝も2-0のストレート勝ち。勢いに乗った本学女子バレーボール部は、決勝の江戸川大学も2-0のストレートで勝利し、優勝を掴み取った。

なお、この結果により、10月9日に埼玉県・彩の国くまがやドームで開催される「令和3年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会関東ブロックラウンド」に出場が決まった。

今大会の結果を受けて、太田豊彦監督は「怪我やビーチバレーの参加で今大会に出場できない選手があり、ベストメンバーではなかったが、選手の頑張りで勝利することができた。このチーム力を武器に次にに向けて頑張りたい」と話した。



優勝の表彰式を終えて ※撮影のためマスクを外しています

第33回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会でベスト4!!

7月10日、11日に開催された「第28回関東大学ビーチバレーボール男女選手権大会」で体育会女子バレーボール部の衣笠乃愛（日本語学科2年）、菊地真結（日本語学科2年）ペアが関東ベスト4の好成績を残した。

この結果で7月15日、16日に開催された「第33回全日本ビーチバレーボール大学選手権大会」に出場し、1セットも落とすことなく3連勝し、

迎えた準決勝では神戸学院大学と対戦。接戦のなか、粘りあるプレーを見せるも0-2で惜しくも敗れたが、全国ベスト4の結果を残した。この結果を受け、衣笠選手は「今年は練習に時間をかけられたので結果が出てよかった。来年は優勝をめざします」、菊地選手は「来年はもっと上をめざし、よい結果が報告できるよう頑張ります」と来年に向けて意

気込みを語った。



左から菊地、衣笠ペア ※撮影のためマスクを外しています

体育会陸上競技部

体育会陸上競技部は、9月10日から12日にかけて相模原ギオンスタジアムにおいて行われた「第32回関東学生新人陸上競技選手権大会兼関東学生リレー競技会」に出場し、男子4×400mB決勝で2位(記録: 3:20.42)、男子砲丸投で荒木勇輝選手(日本語学科1年)が8位入賞(記録: 12m93)し、素晴らしい結果を残した。この結果を受けて川幡俊行監督は、「まだ若いチームなので、今回の結果を来年の関東インカレでも出せるように頑張ってもらいたい」と話した。



男子リレー選手 左から東哲平(日本語学科3年)、山崎健太(日本語学科1年)、中尾晃(日本語学科1年)、村田稜羽(日本語学科1年) ※撮影のためマスクを外しています

2022年度入学試験日程一覧

■浦安キャンパス 外国語学部／経済学部／不動産学部／ホスピタリティ・ツーリズム学部／保健医療学部

入試区分名		出願期間	試験日	合格発表日	
総合型選抜 (AO一般型)	Ⅱ期	第1次	10/18(月)～10/29(金)	11/7(日)	11/11(木)
		第2次	—	書類審査	11/25(木)
	Ⅲ期	第1次	11/1(月)～11/12(金)	11/21(日)	11/25(木)
		第2次	—	書類審査	12/9(木)
	Ⅳ期	第1次	11/15(月)～11/26(金)	12/5(日)	12/9(木)
		第2次	—	書類審査	12/23(木)
総合型選抜 (スポーツ・文化)	A日程		10/18(月)～10/22(金)	11/7(日)	11/11(木)
	B日程		11/15(月)～11/19(金)	12/5(日)	12/9(木)
学校推薦型選抜	指定校		11/1(月)～11/12(金)	11/28(日)	12/2(木)
	全国商業高等学校長協会				
	公募制				
	沖縄特別奨学生				
外国人留学生 特別入学試験	A方式	GMM以外	9/27(月)～10/8(金)	10/23(土)	11/1(月)
		GMM第1次			
		GMM第2次			

※ GMM：ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科グローバル・マネジメント メジャー

※総合型選抜 (AO一般型)Ⅱ期および (AO基礎学力型) はホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科グローバル・マネジメント メジャーの募集はありません。

●お問い合わせ 浦安キャンパス入試事務室 TEL:047-355-5116

■坂戸キャンパス 歯学部

入試区分名	出願期間	試験日	合格発表日	
総合型選抜 (AO)	10/1(金)～10/16(土)	10/23(土)	11/1(月)	
総合型選抜 (自己推薦型)	I 期	11/15(月)～11/24(火)	11/27(土)	12/1(水)
	Ⅱ期	12/1(水)～12/13(月)	12/18(土)	12/23(木)
学校推薦型選抜 (指定校)	11/15(月)～11/24(水)	11/27(土)	12/1(水)	

●お問い合わせ 歯学部入試事務室 TEL:049-279-2852

詳細は必ず入学者選抜試験要項をご確認ください。資料請求は本学公式HPから。 <https://www.meikai.ac.jp>

浦安キャンパス

オープンキャンパス 要予約 外国語/経済/不動産/ホスピタリティ・ツーリズム/保健医療学部
大学院 (応用言語学研究科・経済学研究科・不動産学研究科)

10月24日(日) 9:30～13:00

入試相談会 要予約 外国語/経済/不動産/ホスピタリティ・ツーリズム/保健医療学部

12月19日(日) 10:00～13:00

One Dayセミナー 要予約 保健医療学部

12月19日(日) 13:30～15:30

お問い合わせ／企画広報課 TEL 047-355-1101

※新型コロナウイルスの感染状況により、内容が変更となる可能性があります。

坂戸キャンパス

オープンキャンパス 要予約 歯学部

10月9日(土) 10:30～16:00

12月5日(日) 10:30～13:30

お問い合わせ／歯学部入試事務室
TEL 049-279-2852

各日程の特別プログラム等は本学公式HPをご覧ください。

<https://www.meikai.ac.jp>